



# 南の躍動

令和5年度 第1号

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和5年6月16日



## 「奄美だからこそできる教育」の創造

大島教育事務所長 溜 清弘

大島教育事務所に着任してから1年が経過しました。訪問や行事等を通して、大島の人の心の温かさ、自然・文化の素晴らしさなどに魅了されました。大島地区には、世界自然遺産にも登録されたような素晴らしい自然、島唄や島口をはじめとする奄美の文化等、地区内外に誇れるたくさんの「奄美のよさ」があります。その「奄美のよさ」を生かした各学校の特色ある教育活動は、子供一人一人が生き生きと学んでいる姿から、とても充実していると実感しました。子供の学ぶ姿を見て改めて思うことですが、やはり「教育は人なり」と言われるように、子供の成長した姿は、学校教育の成果であり、その成果のためには、子供と一緒に学び続ける教員の資質・能力に負うところが大きいということです。奄美にはずっと昔から絆を大切にする「結いの心」という精神が伝えられています。「つながり」、「協力」などの互いを支え合う支持的風土に育まれた「奄美のよさ」を生かして、「奄美だからこそできる教育」を子供と一緒に創造してほしいと願っています。また、今年12月25日に奄美群島日本復帰70周年を迎えます。これを単なる歴史の通過点とせず、大島地区の教員が、先人の願いをつないでいく責任と自覚を胸に刻んで、子供の力を伸ばし、魅力・活力ある奄美の教育がより推進されていくことを期待しています。

教育事務所も9名の職員が新たに転入しました。12市町村の教育委員会、129校の小中学校との協力、連携を大切にしながら大島地区の教育の更なる充実に向けて共に努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



奄美群島 日本復帰の喜びにわき上がる島民たち  
【写真提供 奄美市CCBY-NC-SA】

## 積極的な生徒指導の充実をめざして ～生徒指導提要の活用～

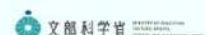
令和4年12月、生徒指導提要が約12年ぶりに改訂されました。生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とすると示されています。目的達成のために、児童生徒一人一人が自己指導能力を身に付けることが重要です。

特に、今後の生徒指導のキーポイントとなるのは、全ての児童生徒の発達を支える発達支持的生徒指導です。発達支持的生徒指導では、日々の教職員の個と集団への働きかけが大切になります。また、授業は、全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場となります。教科の指導と生徒指導の一体化を図る授業づくりを目指していきましょう。

社会の中で、学校ほど多くの大人が子供たちに真剣に向き合い、温かく見守り、育てている場所はありません。その際においても、チーム支援による組織的対応が重要です。城の石垣は、個性的な形をした岩石がうまく組み合わさり、相互に支え合いながら、それぞれの個性を発揮し、強固なものになっています。生徒指導においてもこの石垣に学び、それぞれの持ち味が発揮できるチームとしての学校づくりが必要です。今後、生徒指導提要が生徒指導のバイブルとして、活用されることを期待します。

### 生徒指導提要

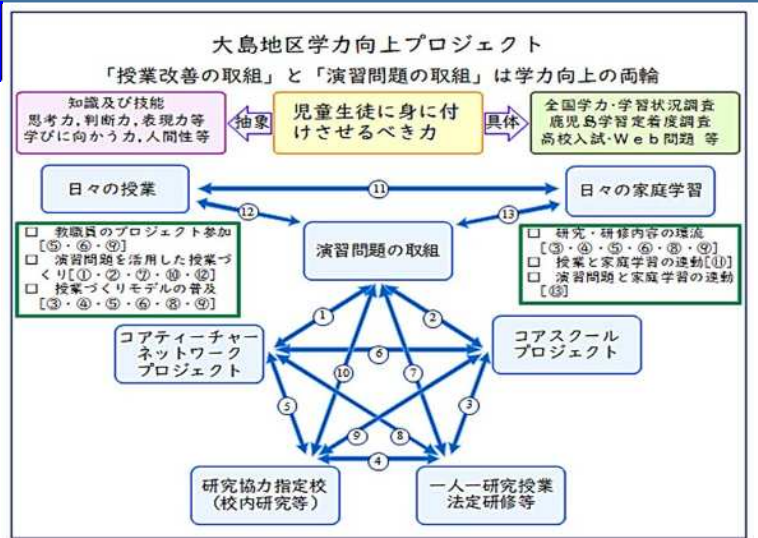
令和4年12月  
文部科学省



# 大島地区教育推進プラン

令和5年度の目標を「奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進～人権教育を全ての教育の根幹に～」とし、到達可能な個別目標（AIGs）を設定しました。

大島地区には、世界遺産にも指定された豊かな自然、島唄・島口等の文化など、魅力ある学習材が存在します。これらを教育課程に位置付けながら、「確かな学力の定着」、「豊かな心と健やかな体」、「開かれた信頼される学校づくり」の調和のとれた到達可能な個別目標を達成するための共通実践事項を掲げ、各学校の実態に応じた教育活動が行われています。特に、「確かな学力の定着」においては大島地区学力向上プロジェクトとして「大島モデル」の授業づくりの推進が右図のペンタゴンにあるように、有機的に取り組まれています。これからも、児童生徒の夢の実現に向けて、生きて働く知識・技能の習得や、これからの社会を生きていくことができる資質・能力を最大限伸ばしていくための教育活動を推進していきましょう。



## リニューアルしました！「大島モデル」の授業づくり

令和4年度鹿児島学習定着度調査の結果では、小5・中1において、数値の向上が見られました。この結果は、まさに、各学校の学力向上に向けた取組の成果であり、児童生徒の努力の賜物であると考えます。一方で、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果等から、本地区では、「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感」及び「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」の項目に、課題が見られています。つまり、「目に見えづらい学力」を育成することが求められているのです。

大島の児童生徒に、「持続可能な社会の創り手」としての資質・能力を養うためにも、今、私たちにできることは、日々の授業の充実です。

そこで、令和5年度、「大島モデル」を以下のようにリニューアルしました。ぜひ、参考にいただき、日々の授業において、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」づくりに取り組んでいきましょう。

### 【「大島モデル」の授業づくりの推進】

大島モデル…授業充実の3ポイントを踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」  
「目標の明確化」、「山場の工夫」、「確かめ・見届け」

#### ポイント1【目標の明確化】

ゴール（児童生徒が身に付ける力）が明確な授業（開始10分以内の導入）

#### ポイント2【山場の工夫】

思考を深めるための様々な学習活動や指導の工夫がある授業

#### ポイント3【確かめ・見届け】

分かるようになった・できるようになった実感のある授業（ラスト10分間の充実）

## 奄美の文化財等 ～大津勘のビーチロック～

知名町大字大津勘の海岸線には、全長約200m、最大幅50mと日本最大級といわれるビーチロックがあります。ビーチロックとは、6000年以内の地質的に新しい生成物で構成されている岩石群で、国内では熱帯・亜熱帯に属する奄美大島以南の島嶼地域によくみられます。大津勘のビーチロックは岩石中に有孔虫の殻やサンゴの欠片を含み、堅硬なものから緻密なものまで、岩石の成分変化に富んでいる特徴があり、県指定天然記念物に指定されています。令和元年度からは年に1回、知名町生涯学習課と大津勘集落と共に海岸一帯の清掃活動・伐採を実施し、周辺環境の保全を図っています。



おおつかん

### 【大津勘のビーチロック】

知名町生涯学習課 文化財  
仲田さんからの写真提供